



# 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 尾家産業株式会社

コード番号 7481 URL <http://www.oie.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 尾家 啓二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部副本部長

(氏名) 小笠原 拓正

TEL 06-6375-0158

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

平成27年12月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	42,796	12.8	289	13.9	326	14.7	179	5.3
27年3月期第2四半期	37,941	6.6	253	0.4	284	△7.2	170	7.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	19.83	—
27年3月期第2四半期	18.83	—

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	28,136	11,307	11,307	40.2	1,249.60	
27年3月期	26,862	11,209	11,209	41.7	1,238.73	

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 11,307百万円 27年3月期 11,209百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
28年3月期	—	9.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年 3月期の業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	5.3	820	9.2	870	7.6	480	18.2	53.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	9,255,000 株	27年3月期	9,255,000 株
28年3月期2Q	206,210 株	27年3月期	206,145 株
28年3月期2Q	9,048,836 株	27年3月期2Q	9,048,920 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
（継続企業の前提に関する注記） .....	6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） .....	6
（セグメント情報等） .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、中国経済の先行き不透明感から、やや鈍化傾向にありますが、輸出関連企業は、円安により大幅な売上・利益向上となり、原材料を輸入に頼る業界は、原料費、物流費、人件費等の高騰と併せて厳しい業績となりました。好業績の業界は、社員の給与や夏季賞与のアップ等を実施し、個人消費にも好転の兆しが見えました。

また、円安効果として訪日外国人も昨年より大幅に増え、ホテル、デパート、専門店、テーマパーク、観光地等ではその恩恵に浴しました。

当社の主要取引先であります外食業界におきましても、全体としては売上の回復が見られましたが、相変わらず低価格化や消費者の節約志向により、厳しい競争を余儀なくされています。特に、居酒屋、パブでは、若者のアルコール離れの影響もあり、依然として苦戦を強いられました。

このような経済環境の下、当社は長期的目標であります「いい会社を作ろう」を目指し、平成25年4月より、第二次3ヶ年中期経営計画「チャレンジ!!スマイルOne」を実行しております。最終年となる当期は、基本方針として「営業力の強化」「適正利益の確保」「明るい職場」を掲げ、全社を挙げて計画達成に向けて取り組んでおります。

営業政策としましては、第1四半期に続き、ヘルスケアフード事業の年間売上予算83億円達成に取り組んでおります。

また、8月、9月には、全国15会場で「秋季提案会」（テーマは、Foods collection～おいしさを集めて～）を開催し、計画通り約7千名のお客様に来場を頂きました。各地においても業種・業態を絞った「ミニ提案会」を開催し、お客様のお役に立てるよう提案営業活動をいたしました。

営業面では、既存のお客様との取組みを更に深化させ、並行して新規得意先開拓に努力いたしました。

拠点政策としましては、4月に岡山営業所を、5月に姫路営業所をそれぞれ新築移転し、平成28年秋以降に数箇所の新築移転をできるように準備を進めております。9月末現在、全国46事業所（11支店、33営業所、サンブラザ2店（業務用食品スーパー））となっており、平成27年3月末と拠点数の変更はございません。

物流関係では、事業所における在庫管理の効率化を図るために、ボイスシステム（音声による入出庫作業と在庫管理システム）の導入を進め、9月末現在、14箇所となりました。

配送車の安全運行にも取組み、「無事故プログラムDR（DRIVE RECORDER）」を96台の車両に設置し、各現場における物流衛生管理の徹底とあわせて、当社の物流品質の向上に取り組ましました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高427億96百万円（前年同期比12.8%増）、営業利益2億89百万円（前年同期比13.9%増）、経常利益3億26百万円（前年同期比14.7%増）、四半期純利益1億79百万円（前年同期比5.3%増）と増収増益となりました。

なお、当社は食品卸売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は、281億36百万円となり、前事業年度末と比較して12億73百万円の増加となりました。

主な要因は、現金及び預金が4億90百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が8億52百万円増加したこと及び、商品が2億67百万円増加したものの、未収入金が3億41百万円減少したことによります。

## (負債)

負債は168億29百万円となり、前事業年度末と比較して11億75百万円の増加となりました。

主な要因は、買掛金が14億44百万円増加したものの、未払金が2億43百万円減少したことによります。

## (純資産)

純資産は113億7百万円となり、前事業年度末と比較して98百万円の増加となりました。

主な要因は、繰越利益剰余金が99百万円増加したことによります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,624,685	7,115,597
受取手形及び売掛金	9,129,906	9,982,355
商品	2,292,063	2,559,191
繰延税金資産	175,216	163,084
未収入金	1,149,054	807,618
その他	25,082	49,856
貸倒引当金	△8,219	△8,987
流動資産合計	19,387,789	20,668,715
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,327,579	1,327,579
減価償却累計額及び減損損失累計額	△619,924	△637,765
建物（純額）	707,655	689,813
建物附属設備	2,605,372	2,655,805
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,995,811	△1,992,754
建物附属設備（純額）	609,561	663,051
構築物	139,883	138,483
減価償却累計額及び減損損失累計額	△111,956	△112,516
構築物（純額）	27,927	25,966
機械及び装置	199,283	219,516
減価償却累計額及び減損損失累計額	△159,150	△164,245
機械及び装置（純額）	40,132	55,270
車両運搬具	2,515	2,515
減価償却累計額	△2,403	△2,459
車両運搬具（純額）	111	55
工具、器具及び備品	563,840	558,781
減価償却累計額及び減損損失累計額	△423,185	△407,111
工具、器具及び備品（純額）	140,654	151,669
土地	2,597,216	2,597,216
建設仮勘定	30,769	—
有形固定資産合計	4,154,028	4,183,044
無形固定資産		
ソフトウェア	219,484	197,766
ソフトウェア仮勘定	22,916	22,689
電話加入権	26,614	26,614
施設利用権	249	198
無形固定資産合計	269,264	247,268
投資その他の資産		
投資有価証券	977,685	972,228
差入保証金	1,647,505	1,663,178
会員権	35,468	35,426
保険積立金	30,960	30,960
破産更生債権等	92,726	56,890
繰延税金資産	333,953	346,192
その他	7,415	5,545
貸倒引当金	△74,045	△72,930
投資その他の資産合計	3,051,669	3,037,492
固定資産合計	7,474,962	7,467,805
資産合計	26,862,752	28,136,521

（単位：千円）

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,703,400	13,148,371
リース債務	99,037	101,969
未払金	335,870	92,821
未払費用	1,055,448	1,132,119
未払法人税等	256,435	156,739
賞与引当金	330,000	360,000
役員賞与引当金	14,900	7,450
資産除去債務	13,930	4,620
その他	21,789	20,372
流動負債合計	13,830,811	15,024,464
固定負債		
リース債務	198,847	176,481
退職給付引当金	1,160,453	1,168,219
役員退職慰労引当金	247,224	240,021
資産除去債務	188,893	199,601
その他	27,474	20,374
固定負債合計	1,822,893	1,804,698
負債合計	15,653,705	16,829,162
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,305,700	1,305,700
資本剰余金		
資本準備金	1,233,690	1,233,690
資本剰余金合計	1,233,690	1,233,690
利益剰余金		
利益準備金	154,131	154,131
その他利益剰余金		
特別償却準備金	4,704	3,709
別途積立金	4,600,000	4,600,000
繰越利益剰余金	3,682,397	3,781,426
利益剰余金合計	8,441,233	8,539,267
自己株式	△170,969	△171,028
株主資本合計	10,809,653	10,907,629
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	399,392	399,730
評価・換算差額等合計	399,392	399,730
純資産合計	11,209,046	11,307,359
負債純資産合計	26,862,752	28,136,521

（2）四半期損益計算書  
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）
売上高	37,941,680	42,796,964
売上原価	32,066,332	36,302,238
商品期首たな卸高	2,456,070	2,292,063
当期商品仕入高	31,959,355	36,569,367
商品期末たな卸高	2,349,093	2,559,191
売上総利益	5,875,347	6,494,726
販売費及び一般管理費	5,621,555	6,205,645
営業利益	253,792	289,080
営業外収益		
受取利息	3,523	3,676
受取配当金	7,697	7,905
貸倒引当金戻入額	845	—
受取賃貸料	15,146	16,099
雑収入	7,388	12,248
営業外収益合計	34,601	39,930
営業外費用		
支払利息	2,812	1,934
雑損失	1,264	998
営業外費用合計	4,077	2,933
経常利益	284,316	326,077
特別利益		
投資有価証券売却益	3,940	207
特別利益合計	3,940	207
特別損失		
固定資産売却損	4,617	—
特別損失合計	4,617	—
税引前四半期純利益	283,639	326,285
法人税、住民税及び事業税	103,901	140,887
法人税等調整額	9,325	5,925
法人税等合計	113,226	146,812
四半期純利益	170,412	179,473

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、食品卸売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。